

正観

2023年 10月号

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)
会長 遠藤 勝雄 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

剣道時代11月号の「私が学んだ剣道、私が伝えたい剣道」に遠藤勝雄先生の記事が掲載されました。

遠藤先生の生立ちから高校・大学での恩師との出会い、稽古三昧の日々を語られていますが、ことに教員になられてから母校を皮切りに指導者の道を進まれ子弟同行、愛情深く部員を育てながらご自分の修行も欠かさず、教頭の激務の中で八段挑戦された時の心境の変化は興味深く拝読しました。

「位の剣道」「我慢」「攻めに徹した崩れない剣道」「相手を引き出す工夫」をしながらの稽古が実り八段に合格。

現在思われていることは「年相応に合った剣道」があり、練り直しをしながら次第に「心のやりとり」を意識して「相手も十分に引き立て自分も楽しむ剣道」ができればお互いを高め合う「生涯剣道」ができる。

いつも遠藤先生から例会の折に熱く指導していただく内容ばかりですが、本書やこれまでの会報記事も再読して皆さんとともにさらに精進いたしましょう。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ 東北地区クラブ

幹事長 三 條 貞 夫



1 福島県郡山市例会の報告

7月29日(土)、30日(日)の二日間、石田慶節先生並びに渡辺茂樹先生のお骨折りにより、福島県の郡山市東部体育館および天然温泉月光温泉クアハイムにおいて令和5年度第2回目の地区例会が開催され、20名の会員が参加されました。

35℃を超える猛暑日の暑中稽古でしたが、遠藤会長から「この場で得た学びや課題は持ち帰って修練し、本番に活かして欲しい」と激励の挨拶を賜り参加者は集中力をもって取り組むことができました。

ご指導賜りました遠藤勝雄先生、曾根孝悦先生、佐藤孝康先生、三條貞夫先生をはじめ広くて立派な会場をご高配くださいました石田先生、渡辺先生、並びにご参加いただいた会員の皆様に改めて感謝申し上げます。また、今回ご都合のつかなかった皆様も次回是非ご参加されますようお願いしております。



(一日目の稽古概要)

講習・基本稽古

初めに佐藤孝康先生に講師を務めていただき基本打突の実技講習を実施しました。猛暑という環境に対応し自分の体調に合わせて無理をしないで良い稽古ができるように、1本1本を大事に自分の最高の打突をすることをご指導いただきました。

- ・面の切り返し
- ・胴の切り返し
- ・一足一刀の間合いで左足を動かさないうで面3本
- ・面摺り上げ面3本
- ・面返し胴3本
- ・小手摺り上げ面3本
- ・自分の得意な最高の面、1本になる面



審査研修

引き続き審査研修が行われました。暑さのため集中力を切らさないことが困難な中でしたが、翌週に新潟審査会を控えて真剣な立合いが繰り広げられました。八段受審の先生方には遠藤先生、三條先生、五・六・七段受審の先生方には曾根先生、佐藤先生から一人一人丁寧に課題の指導や悪癖の指摘を賜りました。以下にご指導いただいた点の一部を記載させていただきます。

～八段受審査者会場～

- ・立合いは9歩の間を意識して相手と気を合わせ、気を充実させる。
- ・相手の攻めに対して打たれまいとして肩で防ぐのではなく、剣先を生かして前で制する。
- ・構えの時、左手で拍子を取らない。
- ・二刀は小太刀の使い方を研究する。
- ・二刀に対して1本打ちは効かない。二の太刀、三の太刀の連続技を使う中で1本の技を出す。
- ・二刀に対しては小太刀に捉われない。上を攻めて下、下を攻めて上、右をせめて左、左をせめて右、小太刀を意識しないで崩す。
- ・上段、二刀の身構え、心構えが整わない内に竹刀を打ち落として打つ。

～五・六・七段受審査者会場～

- ・打突後に姿勢・構えが崩れている。
- ・相手に引き出されている。気持ちは先で攻めて相手を動かす。
相手が来るのを待つのではなく攻めて間合いをつめて相手を引き出す、動かして相手が動くところを打つ。
- ・自分の準備ができていて間合いに入れば打つことができるが自分の準備ができていないで入るから打たれる。無謀、不用意に入って打たれている。
- ・返し胴を打った後の残心がない。
- ・立ち合いの最中に左手の握りを握り返して直しているのは良くない。
- ・面を打った後は体を相手に寄せていく。
- ・構えの立ち姿が前傾している。右足で攻めたら左足を引き付けて溜める。
- ・待っていては駄目、間合いを詰めていく。
- ・二刀の大刀の打突が強度不足。小刀の剣先を相手から外さない。

指導稽古

その後4名の八段の先生方に元に立っていただいて会員夫々力の限り懸命に稽古をつけていただきました。厳しい環境の中で辛いことを乗り越えることにより動じない心を養うという暑中稽古の目的が十分に果たせたように感じました。

稽古風景



稽古後



懇親会

稽古で力を出し尽くした後は天然温泉でゆったりと疲れを癒して美味しい食事と美酒を酌み交わしての楽しい宴です。遠藤会長から暑さに負けずにやり通したことに労いのお言葉をかけていただき続いて石田先生に乾杯の音頭をとっていただきました。

冒頭 曾根先生から国際社会人剣道クラブの海外交流事業に参加された時のご報告がありました。外国の剣士の方々が真剣に精進し進歩されている姿に感動し心のこもった厚いおもてなしに感謝でいっぱいの交流となり、大きな成果と共に心の引き締まる遠征となったご様子が伝わってまいりました。

○6月10日(土)～11日(日) ラトビア 湯村カップ

○7月8日(土)～9日(日) 国際オープン韓国社会人剣道大会

についての概要が曾根先生により国際社会人剣道クラブのホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

(二日目の稽古概要)

二日目は、着座形式で遠藤先生から素振りや五方切りの他、攻めに関する説明をいただき、その後、「攻めて・打たせて・打つ」の稽古をしました。

座学と稽古

- ・意識を持って稽古をするのとしめないのでは、雲泥の差がでてくる。
- ・可動域は大きく、コップの割れ目と同じでそこが可能性となる。
- ・身幅の稽古、五本の打ち
- ・攻めの重要性、ただ打つのではない。攻めは打つことよりも重視される。
- ・当てようとするとうち切れず、評価にならない。打ち切ることを心に入れる。
- ・初太刀の大事、勇まないこと、先に動かないこと、立ち上がり迷いのないこと
- ・先革から中結に入ってそのまま打つのではなく、気あたりをつけて、相手は出ばなをねらっているから覚悟して。
- ・もう一つは相手の両拳を攻める。
- ・足さばきを伴わないと威力が出ない。
- ・返し胴は左肩を引く



(1) 参加者 (敬称略・順不同)

宿泊：遠藤勝雄、曾根孝悦、佐藤孝康、三條貞夫、渡邊初男、種村信行、小淵俊江、
小林房雄、佐々木博嗣、佐藤弘明、細矢国昭、佐々木幹彦、文載圭、江俣和代
稽古：石田慶節、三浦均、遠藤近志、渡邊一仁、栗原利江、欠端 學、平子雅道、
頼金達臣 (関東地区)

(2) ご祝儀、差し入れ 石田先生：日本酒・ご祝儀 細矢先生：日本酒

小淵先生：ワイン、欠端先生：日本酒

2 山形県米沢市例会のご報告

8月27日(日)、今年度第3回目の地区例会が米沢市の三條かの記念館を会場に開催されました。近畿地区クラブの田頭啓史八段、関東地区クラブの岩崎佳世先生、山田昭典先生はじめ26名の会員、さらに地元の剣士も大勢ご参加くださり道場いっぱい、気の満ちた例会となりました。会長からはご挨拶の中で「剣縁を広げ交剣知愛を深める機会。相手を敬い真心をもって対すること。」とお言葉を賜りました。

熱心にご指導いただきました遠藤勝雄先生、曾根孝悦先生、佐藤孝康先生、三條貞夫先生、田頭啓史先生、ご参加くださいました会員の皆様にご感謝申し上げます。



講習・基本稽古

三條先生に講師を務めていただき基本打突の実技講習を実施しました。

- ・ すり足での切り返し：打ち手は元立ち主導の動きに従って打つ。肩を大きく使って打つ。できるだけ大きく前進・後退する。
- ・ 一呼吸の切り返し
- ・ 面打ち ; 気合を入れて、触刃から打ち手が中心を取りながら打ち間に入り、元立ちが作った隙に瞬時に大きい面を打つ。
- ・ 突き
- ・ 突きを攻めて面
- ・ かかり手が攻めて間を詰め、元立ちが打とうとするところに出頭面
- ・ 元立ちが面を打つところ返し胴（胴を打突後の体裁き、肩の使い方に注意）
- ・ かかり手が攻めて元立ちの面を引き出して出頭面、出小手、返し胴

廻り稽古 2分×10回

指導稽古 約40分間





講評

遠藤会長から「暑中での稽古の辛さを苦しくてもやせ我慢することで達成感や成就感が得られ、自分の剣道の進化にもつながる。相手との攻防の中で攻め切らずに苦しくなって先に打ってしまうと品位が崩れる。苦しくても我慢することで品位が高まっていく。」と講評を頂戴し、最も暑い時期に暑い米沢での稽古をやり遂げた会員の清々しい表情で閉会となりました。



(1) 参加者 (順不同・敬称略)

遠藤勝雄、曾根孝悦、佐藤孝康、三條貞夫、田頭啓史 (近畿)、渡邊初男、阿部東司、阿部東悦、井上均、小淵俊江、小林房雄、三浦均、佐々木博嗣、佐々木幹彦、西口晃、

三條祐介、平子雅道、種村信行、文載圭、盛島明彦、細谷国昭、渡邊一仁、頼金達臣
(関東)、岩崎佳世(関東)山田昭典(関東)江俣和代 地元の剣士の皆様

(2) 差し入れ

米沢市剣道連盟の徳間先生よりスポーツドリンク

3 岩手県北上市例会のご案内

令和5年度第4回目の地区例会を下記により開催いたします。秋冷の時季、秋の審査を間近に控え、稽古にも一段と気の入る良い気候です。岩手の紅葉も錦のように鮮やかとなる頃でしょう。今回は宿泊での開催になりますが1日のみの参加でも可能です。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

- (1) 日 時 令和5年10月14日(土) ①午後3時～ 審査研修・稽古等
②午後6時～ 懇親会
令和5年10月15日(日) ①午前9時～ 稽古等

(2) 稽古会場 北上市ふるさと体験館

〒024-0324

北上市和賀町山口23地割24-5

電話 0197-72-2883

<https://taikenkan.com/>

(3) 宿泊場所 同上

(4) 会費 9,500円

(5) 申込締切 令和5年9月27日(水)まで

《今後の予定》

開催予定時期	開催予定場所	備考
令和5年11月4日・5日(土・日)	全国例会 静岡県浜松市	東海地区主管
令和5年12月16日(日)	宮城県仙台市	日帰り
令和6年1月27日・28日(土・日)	山形県山形市	宿泊

4 昇段審査合格者の報告!

五段 文 載圭先生(宮城) 9月 宮城県武道館

窪田 優先生(宮城) 9月 宮城県武道館

ご昇段おめでとうございます!!益々のご精進をご祈念申し上げます。

◆ 当クラブ副会長(本部理事長)曾根孝悦先生の著書紹介

「剣道は難しい、だから、楽しい」この著書は曾根先生が剣道を始めてから現在に至るまで、剣道を歩んできた事を集約したもので、指導の手引きや自分の剣道を高めるのに必ずや役立つものと思います。1冊1,000円で領布致します。各地区の指導者の皆様にも是非お勧めください。数がまとまれば発送いたします。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

北海道地区クラブ幹事長代行 出村大光氏 s-bungu@axel.ocn.ne.jp

関東地区クラブ 幹事長 小川 徹氏 tetujin-30@g08itscom.net

東海地区クラブ 幹事長 足立 誠氏 makoto.adachi51@gmail.com

近畿地区クラブ 幹事長 久保達也氏 tatsuyakubotatsuya@gmail.com

中国四国クラブ 幹事長 金尾静一氏 kanao-0522@amethyst.broba.cc

九州地区クラブ 幹事長 山田雅士氏 m.yamada.kokura.k8@gmail.com

編集後記

厳しい残暑も和らいで爽快な季節になりました。異常な暑さの中で開催された2回の例会でしたが多くの皆様が参加され、辛さから逃げずに乗り越えてやり遂げる心の強さを見せてくださいました。それを支えてくださった指導陣の先生方、また共に稽古に向き合うお仲間の先生方のお力のお陰でもあると改めて感謝申し上げます。（江俣和代）